

1. 合併症を減らす

ステント血栓症の予防

- ・ 術中の ACT>250(s)
- ・ 高圧拡張を行い、不十分拡張を避ける
- ・ 抗血小板薬服薬の徹底(術前からのムンテラが重要)

基本は BMS 時代の血栓症予防に準じる . DES 時代になり対象病変が complex 化しているためにステント血栓症が増える可能性があることが指摘されている .

2. ステント再狭窄を予防する

- ・ 病変をフルカバーする(ステント長が長くなってもやむを得ない)
- ・ 前拡張は短いバルーンで施行する .
- ・ ステントバルーンを用いての後拡張は、バルーンを動かさずに施行する
- ・ ステント間のギャップを作らない .
- ・ 後拡張はステント内で施行する

上記の2点に集約される .